

できることを着実に新資格制度は来年から

一般社団法人 全国さく井協会 第46回定時社員総会開く

(一社)全国さく井協会は6月19日、東京都中央区の鉄鋼会館で第46回定時社員総会を開催し、令和元年度事業報告、決算を承認し、令和2年度事業計画及び予算の報告を了承した。

総会の冒頭、挨拶した脇雅史会長は「新型コロナウイルス感染の影響で、会員皆さんは苦勞している。これから先も見通しにくい。とにかく今はできることを着実にやっていきたい。辛抱強くやっていくことが大事だ。我々は自然災害の非常事態に対応してきた。これからは、災害以外に感染症対策が必要だと思う。今後もさく井業界発展に頑張っていきたい」と会員の結束と協力を求めた。



挨拶する脇雅史会長



議事を進める知久明議長

令和2年度事業計画は、会員増による組織の充実に取り組むが、新型コロナウイルス感染の影響は大きく『地下水利用設計管理技術者』資格制度のスタートは1年延期して、令和3年度となること、秋に予定していた九州支部での『いい井戸の日』の開催を中止したこと、また春から夏に計画していた他団体と共催の講習会も取りやめになり、秋から冬に予定している事業も現時点では未定となっていることが報告された。

会長の挨拶にあったように「今年はできることを着実にやっていくこと」に専念し、新型コロナウイルスの終息を待ちたい。

今年は新型コロナウイルス感染拡大防止のため懇親会は行わず、以上で定時社員総会は終了した。

このような状況下でまた、当日は雨天にもかかわらずご出席いただいた皆様ありがとうございました。



「三密」を配慮した総会会場